

授業科目	小児看護学概論			単位数	1	時間数	30			
担当講師 (実務経験)	非常勤講師（小児看護臨床実務経験有）									
科目目標	1. 小児各期にある子ども、取り巻く環境を理解し、健やかな成長発達を支援するための小児看護の目的、役割、責務について学ぶ。									
	回数	時間	授業内容	授業方法		担当講師				
	1	2	小児看護の特徴と理念 ①対象 ②目標と役割	講義		非常勤講師				
	2	2	小児看護における子どもの権利保障	講義						
	3	2	子どもの栄養 ①意義 ②発達段階別の子どもの栄養の特徴と看護	講義						
	4 ～ 6	6	各発達段階における養育と看護・健康問題・安全と事故防止 ①乳児期 ②幼児期	講義						
	7	2	③学童期	講義						
	8	2	④思春期	講義						
	9	2	子どもと家族を取りまく社会と福祉施策	講義						
	10	2	家族の特徴とアセスメント	講義						
	11	2	病気・障害をもつ子どもと家族	講義						
	12	2	急性期にある子どもと家族	講義						
	13	2	慢性期にある子どもと家族	講義						
	14	2	終末期にある子どもと家族	講義						
	15	1	小児看護の課題、まとめ	講義						
	16	1	終講試験	試験						
	評価方法	筆記試験 100 点								
	評価基準	60 点以上で合格								
テキスト	系統看護学講座 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 小児看護学[2] 小児臨床看護各論 医学書院									

授業科目	小児看護方法Ⅰ		単位数	1	時間数	30			
担当講師 (実務経験)	専任教員（小児看護臨床実務経験有）								
科目目標	1. 子どもの療養環境・入院環境について理解する。 2. 子どもとのコミュニケーションの方法について理解する。 3. プレパレーションの目的について理解する。 4. 入院・療養における日常生活援助と留意点について理解する。 5. 小児のアセスメントと留意点について理解する。 6. 小児の検査・処置、救急救命処置技術と留意点について理解する。								
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師				
	1～3	6	子どもの状況（環境）に特徴づけられる看護 （外来・入院・在宅療養） ①環境調整 ②事故・感染防止 ③子どもと家族の特徴 ④健康・生活を支える看護 ⑤他職種連携	講義 演習	専任教員				
	4	2	コミュニケーション・問診	講義・演習					
	5	2	小児の看護技術 ①プレパレーション	講義・演習					
	6	2	バイタルサイン・身体的アセスメント	講義					
	7～8	4	検査や処置を受ける子どもと家族への看護	講義					
	9	2	小児の看護技術 ②バイタルサイン測定、身体計測 ③意識レベルの観察と救急法	講義・演習					
	10	4	小児の看護技術 ④日常生活援助技術	演習					
	11	2	小児の健康教育	講義・演習					
	12	2		演習					
	13	3		演習					
	14	1	終講試験						
	評価方法	筆記試験 80 点、健康教育課題 20 点							
	評価基準	60 点以上で合格							
	テキスト	系統看護学講座 小児看護学〔2〕小児臨床看護各論 医学書院 新訂版 写真でわかる小児看護技術アドバンス インターメディカ							

授業科目		小児看護方法Ⅱ		単位数	2	時間数	30
担当講師 (実務経験)		看護師（産科病棟実務） 看護師（小児看護経験有） 専任教員（小児看護経験有）					
科目目標		1. 病態を理解し、健康が障害された子どもに生じる症状や反応、陥りやすい状態、小児や家族の生活に与える影響を理解する 2. 子どもが受ける検査・処置・治療に合わせた観察と看護の方法を学ぶ 3. 健康課題が子どもの成長発達に与える影響を理解し、小児各期の子どもと家族の成長発達、健康、生活を支援する看護の方法を学ぶ 4. 看護過程展開をととして、小児に合わせた目標設定と具体的な介入方法を学習する					
	回数	時間	授業内容	授業方法	担当講師		
	1	2	低出生体重の子どもと家族の看護	講義	看護師		
	2	2					
	3	2	先天性心疾患をもつ子どもと家族の看護 ＊告知、受容における家族への看護 ＊周術期の看護 ＊退院支援	講義	看護師		
	4	2					
	5	2	急性期にある子どもと家族への看護／気管支炎、喘息 ＊症状のある子どもと家族への看護 ＊合併症の早期発見と回復に向けた看護	講義			
	6	2	急性期にある子どもと家族への看護／川崎病 ＊症状のある子どもと家族への看護 ＊合併症の早期発見と回復に向けた看護	講義			
	7	2	慢性期にある子どもと家族への看護／糖尿病 ＊食事制限が必要な子どもと家族への看護	講義			
	8	2	終末期にある子どもと家族への看護／白血病 ＊子どもと家族への緩和ケア	講義			
	9	2	障害をもつ子どもと家族への看護／脳性麻痺	講義			
	10	2	小児の看護展開（ネフローゼ症候群） オリエンテーション	講義 演習	専任教員		
	11	2	グループワーク（アセスメントの集約）	演習			
	12	2	グループワーク（全体像の把握）	演習			
	13	2	グループワーク（プレパレーション計画）	演習			
	14	3	発表	演習			
	15	1	終講試験	試験			
評価方法		筆記試験 80 点と看護過程 20 点					
評価基準		60 点以上で合格					
テキスト		系統看護学講座 小児看護学〔2〕小児臨床看護各論 医学書院 新訂版 写真でわかる小児看護技術アドバンス インターメディカ					